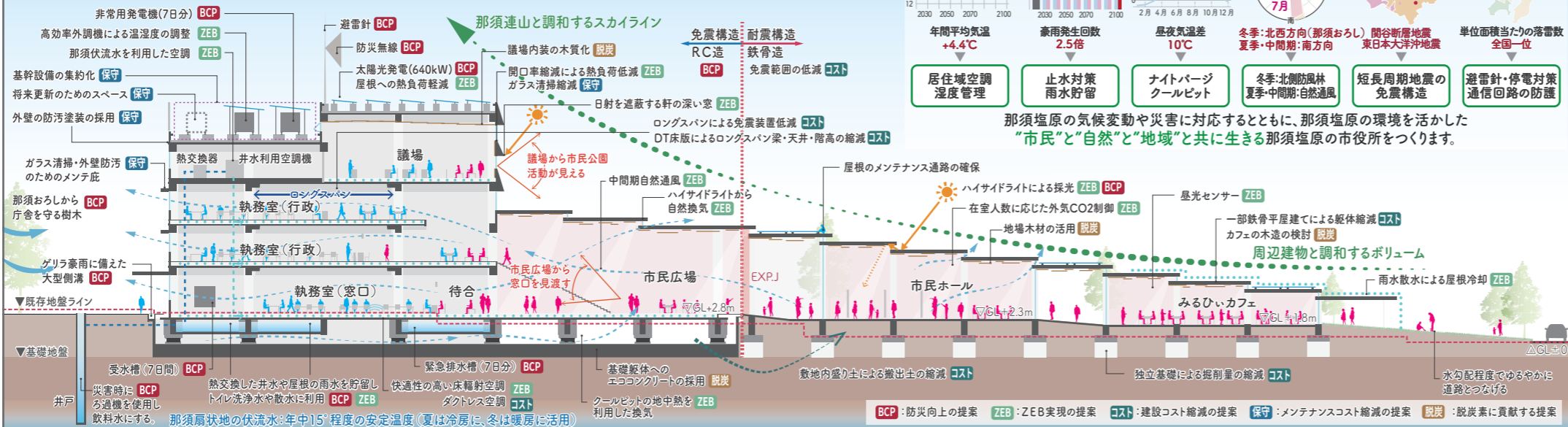
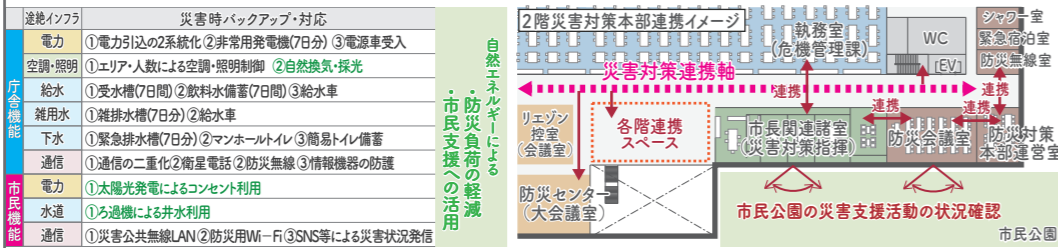
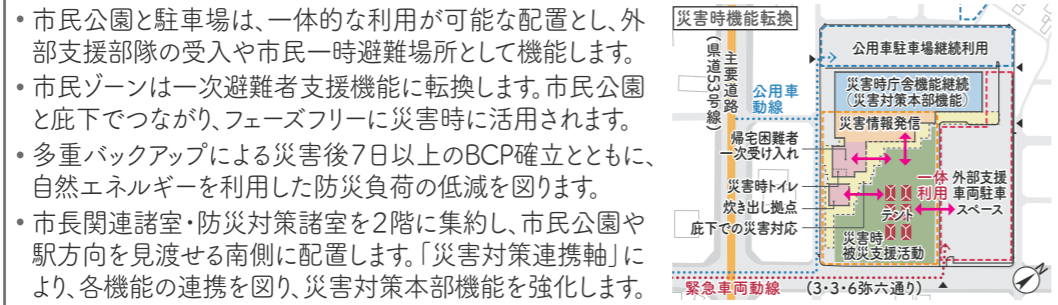


まちと共に生きる『みどり』の市役所

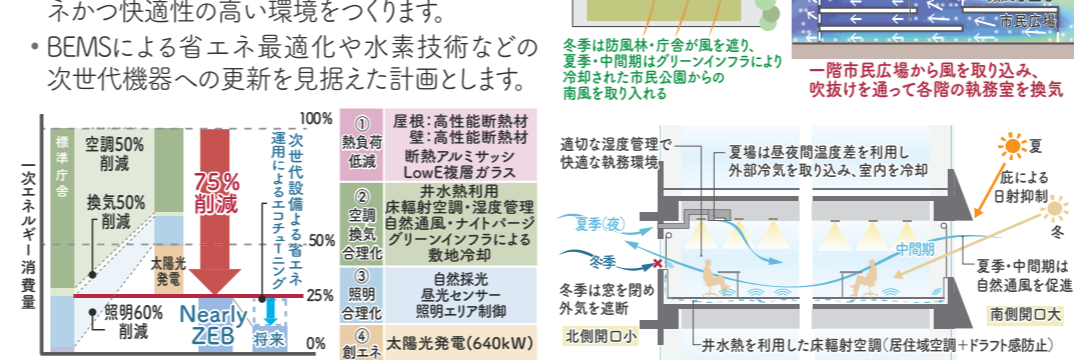
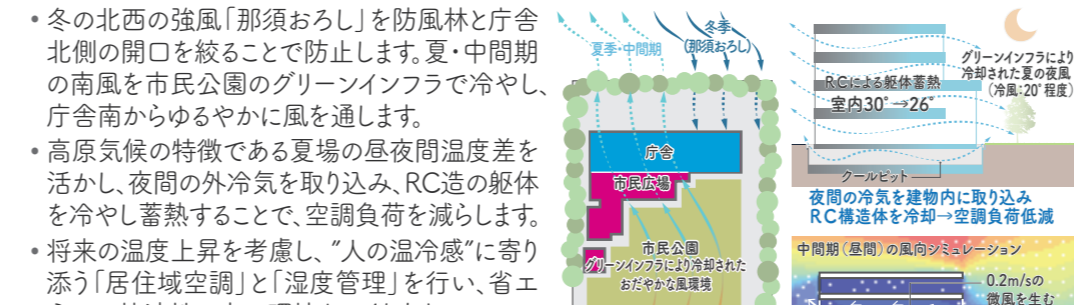


1 災害対策本部機能の強化、災害時における拠点機能の充実 『市民公園』の活動がつなぐ“市民と共に生きる”防災庁舎



建物ボリューム比較	市民ゾーン:約2,500㎡	市民ゾーンのうち窓口業務との連携に必要な機能は免震範囲に配置を想定
基本計画記載の1階配置の機能と面積	合計:約6,500㎡	
2階建て案(基本計画)	3階建て案(基本計画)	今回計画
建物断面イメージ	8500㎡	5000㎡ 3500㎡ 3500㎡ 5500㎡
躯体コスト	△:免震装置が多い	○:免震装置が少ない
掘削量	△:約42,500㎡	○:約27,500㎡+2,000㎡
工期	△:建築面積が大きく長工期	○:一部鉄骨造で工期短
耐震性能	◎:庁舎全体が免震	○:庁舎全体が免震

3 自然エネルギー・資源の有効活用、省エネルギー推進、ライフサイクルコストの削減(ランニングコストの削減) 高原気候の風・光・緑を活かす“自然と共に生きる”環境庁舎



建設費削減のための導入項目	メンテナンスコスト削減のための導入項目
A 一部鉄骨平屋建てによる躯体削減	1 ガラス清掃・外壁防汚のためのバルコニー
B 免震範囲の低減	2 設備配管スペースの集約化
C 敷地内盛土による掘削土の削減	3 基礎設備の集約化
D ロングスパンによる免震装置低減	4 外壁の防汚塗装の採用
E DT床版によるロングスパン梁の削減	5 屋根のメンテナンス通路の確保
F DT床版による天井の削減	6 開口率削減によるガラス清掃削減
G 天井裏による階高の削減	7 DXを利用した修繕履歴データベース
H ダクトレス空調	8 将来更新のためのEV選定+更新スペース

LCCの削減と脱炭素化の実現について

LCC (100年)	標準	削減率
建設	19	11
光熱水	11	5
使用	44	11
設備管理	23	8
修繕	14	5
廃棄	40	27

凡例: 建設 光熱水 使用 設備管理 修繕 廃棄

那須塩原地域資源循環共生圏への貢献
 ①建設の脱炭素化 ②NearlyZEB ③運用更新の最適化 ④素材・エネルギーの地産地消 ⑤3Rの実現

